あおもり
町連だより

第168号
平成16年６月発行

青森市町会連合会
TEL 017(734)2584
FAX 017(734)2587

16年度定時総会

佐藤久雄会長を再選　全議案承認

次なる節目へ　飛躍の第一歩に

青森市町会連合会は、５月18日㈫午後１時から市文化会館で平成16年度の定時総会を開き、16年度事業計画・予算案をはじめとした提出８議案を原案通り、また役員についても満場一致で選出しました。

総会は山口精一・常任理事の司会で、太田巌・副会長が開会を宣言。物故者全員に黙祷をささげたあと、佐藤会長があいさつ（２面に掲載）を行い、次なる節目への飛躍に向けて活動しやすい環境づくりと活動の活性化支援を強調しました。

次いで永年勤続町会長23人、優良町会21町会、優良町会員140人、特別表彰１団体（３面に掲載）を顕彰、受賞者を代表して山形龍夫・飛鳥町会長が謝辞を述べました。

引き続き来賓の佐々木誠造・市長、大矢保・市議会議長（代理）、肥後隆・青森警察署長が町会活動との連携の重要性に触れるとともに、ますますの発展を祈念する祝辞を述べました。

このあと、中谷正・筒井町会長を議長に選出して議事に入り、平成15年度の事業・決算報告を含む提出全議案を承認して閉会しました。

新役員次の通り。

▽**会長**＝佐藤久雄（奥野第一町会長・再）

▽**副会長**＝伊藤栄（鴨泊町会長・新）新谷峰三（上三上町町会長・再）山口精一（やはぎ町会長・新）舘田紀代文（油川下町町会長・新）上田正彦（西奥野町会長・新）

▽**常任理事**＝挟間昭治（合浦町会長・新）阿部正男（出町町会長・再）小笠原初枝（桂木町会長・新）坂本孝清（六枚橋町会長・新）今貞一（古川三丁目第一町会長・再）葛西房子(女性部会長・再)

▽**監事**＝飛内信一（堤町町会長・新）江口祥一（西門町町会長・新）有馬俊悦（八雲町会長・再）

町連役員と町会長
活性化へ密に意見交換
16年度事業計画

〔基本方針〕

青森市民憲章の主旨を尊重して、市民福祉の向上を図る。

1、健やかで、あたたかいまちづくりの推進
1、環境美化運動の活性化推進
1、心豊かな活力に満ちた市民運動の推進

〔重点事業〕

1、町会連合会役員と町会長との意見交換（新規）ニーズと抱える課題を把握し、事業に反映させる。

（２面へ続く）

回覧

町会活動の環境づくり支援

佐藤会長あいさつ

昨年10月に挙行しました町会連合会創立50周年記念式典には、皆様多数のご出席をいただき、盛大に節目を祝うことができました。心から感謝とお礼を申し上げます。

町会連合会の組織も新たな宅地造成等により、新しい町会が誕生し、4月1日現在で加入町会数が373となり、町会連合会の役割がさらに重く、かつ大きくなってきたわけで、皆様の負託に応えるよう決意を新たにしているところでございます。

私どもを取り巻く地域社会は、少子高齢化が一段と進み、住民の価値観も複雑多様になっております。

このような背景の中で町会長は、地域のリーダーとして「ごみの分別指導」をはじめ、「コミュニティ」や「環境美化」、小中学校など関係団体との連携による「青少年の健全育成」、「交通安全」、「防犯活動」など地域の特性を活かしながら、住みよい地域社会づくりに日夜、大変なご苦労をされております。心から敬意を表する次第であります。

さて、平成16年度の町会連合会の事業運営に対する私の基本方針を述べたいと思います。ご承知のように財政環境は非常に厳しい状況にありますが、16年度は次なる節目へ向けて飛躍するスタートの年として位置づけし、町会が抱えている課題とニーズの把握に全力をあげ、それを町会連合会事業に反映させ、373の町会、37の地区連合町会、5つの地域協議会の活動しやすい環境づくりと活動の活性化を支援して参りたいと考えております。

皆様のご協力をいただきながら、事業を推進して参りたいと存じますので、一層のお力添えをお願い申し上げる次第でございます。

終わりに当たりまして、それぞれの町会の住みよい環境づくりと活性化のため、ますますご健勝でご活躍されることを祈念申し上げ、甚だ粗辞ながらごあいさつといたします。

2、活動しやすい環境づくりと活性化支援(継続)

①町会長の町会事業活動中における万一の事故に備えた保険加入
②アパート等入居世帯の町会加入促進事業
③地域コミュニティ活性化事業補助金の対象事業拡充要望
④地域協議会ごとの町会長研修会の開催
⑤特徴的な事業活動を行っている町会を広報紙「町連だより」で紹介

〔総務部会〕

町会等の円滑な運営と活性化が図られるよう新任町会長及び理事・部会員研修会開催と地域協議会ごとの全町会長研修会を継続実施。

また、他団体との交流や市政懇談会及び市民と市長の懇談サロンを開催し、町会等の抱える課題について市長と意見交換するとともに、市の助成制度を利用したコミュニティ事業導入の呼びかけを行い、青少年の健全育成への協力を進める。

〔建設部会〕

自主防災組織化への環境づくりや各町会の要望を受けて、新規街路灯の設置促進、雪処理事業の充実及び道路側溝の整備促進など安全・安心・快適な地域環境づくりを推進するため、関係機関へ働きかける。

〔交通安全防犯部会〕

新規事業として「防犯旗」を製作し、「交通安全旗」とともに希望町会に斡旋する。

また、交通事故防止及び防犯意識を高めるため、パレードなどの市民運動を継続実施するとともに、ロードミラー、信号機設置などの交通安全施設整備の町会要望をとりまとめ、市及び関係機関へ整備を働きかける。

〔環境衛生部会〕

各町会の環境美化運動の実態把握を行い、情報提供に努める。

また、ごみ出しマナーアップや分別の徹底によるごみ減量化及び市民一掃き運動を関係機関と協力し、住みよい地域環境づくりに努める。

〔福祉部会〕

冠婚葬祭合理化運動に引き続き取り組むほか、関係機関が行う健康づくり事業の推進に協力するとともに、地区社会福祉協議会と (3面へ続く)

浪岡町との合併

考えてみよう　新たなまちづくり

市が町会連合会と意見交換

浪岡町との新たなまちづくりに関する意見交換会は４月21日㈬、県民福祉プラザで町会連合会理事会に引き続いて、佐々木誠造市長をはじめ総務課合併推進室の職員らが出席して開かれました。

初めに佐々木市長あいさつのあと、市側から55ページに及ぶ「青森浪岡21世紀まちづくり創造会議」（任意合併協議会）の協議結果報告書についての説明があり、「合併後の私たちのくらし」ではどのような「まち」になるのか、方向付けを浮き彫りにしました。このあとの意見交換では、佐々木市長は市営バスを浪岡までぜひ運行させたいなどと述べました。

佐々木市長と合併について話し合う出席者

今後の展望としては、今年６月に法定合併協議会を設け、17年３月（合併特例法時限）に合併にこぎつける方向といいます。

連絡協調し、住みよい地域社会づくりに努める。

〔女性部会〕

花いっぱい運動など環境美化活動を推進するほか、男女共同参画施策に積極参加や町会女性部組織結成の働きかけを行うとともに、町内女性の集いを継続実施する。

また、健康診査受診の呼びかけを町内女性部を通じて行い、市の健康づくり推進に協力する。

おめでとうございます

―青森市顕彰―

４人の退任町会長が受賞

平成15年度青森市顕彰の表彰式が２月９日㈪、ラ・プラス青い森で行われました。

町会連合会関係では、町会長として町会育成指導に貢献され、退任した４人（勤続10年以上15年未満）が功労彰を受賞しました。

［功労彰］ 葛西良三（前佃第一町会長）加川光義（前中央富田町会長）松山慶一（前平岡町会長）須藤豊栄（前南金沢町会長）

―町会連合会―

永年勤続町会長・優良町会・優良町会員など表彰

町会連合会は、５月18日㈫の定時総会で次の通り表彰しました。

［永年勤続町会長］ ◇**感謝状**＝八木橋満則（新生町）室津穣（松森町）◇**20年表彰**＝新谷峰三（上三上町）山形龍夫（飛鳥）澤田公誠（前田）◇**15年表彰**＝小畑忠一（花園第一）古川哲三（稲元第三）新山耕三（向野沢）大田巖（すみれ）桜田秀雄（ひばりの）柏原隆太郎（橋本南）◇**10年表彰**＝鹿内忠雄（平新田）ほか10人◇**５年表彰**＝元尾健（佃東）ほか22人

［優良町会］ ◇**交通事故防止優良町会**＝マック青森コート町会、久須志第一町会、新城大坂第一町会、石江江渡中町会、信用町町会、甲田町町会、大野町会、中奥野町会◇**防犯活動優良町会**＝浪館第一町会、岡部町会、信用町町会、桂木町会、大野町会、西奥野町会◇**環境美化優良町会**＝御園町町会、花園町町会、石江江渡中町会、石江江渡下町会、桂木町会、油川館町町会、古川三丁目第一町会

［優良町会員］ 佐藤秀子（久栗坂）ほか139人

戸山中生徒会を特別表彰

青森市立戸山中学校生徒会は、登校時における全校生徒の「あいさつ運動」をはじめ、住民としての自覚を持ち、町会行事の「祭り」や「野外芸能発表会」などに積極参加し、主役となって企画・運営に協力しています。

特別表彰を受ける生徒会副会長の木村華子さん

このほか、町会の自主防災活動にも積極的に参加し、さらに地域の環境美化活動を行うなど、中学校生徒として模範的な活動であると認め、町会連合会は定時総会の席上特別表彰しました。

おらほの自慢

古川三丁目第一町会

賑やかに町内体育祭
親睦掲げて8回数える

110世帯の小さな町会ですが、施設環境の有利さを生かし、いろいろな行事を進めながら、役員・会員相互の親睦を図っています。
その一つが、通算8回を迎えた「体育の日」に実施している『町内体育祭』です。8回目の昨年は、10月13日に男女合わせて25人の大人が古川小学校体育館に集いました。

初めのころは子供を含めて40人前後が集まったのに、子供の参加が年々減り、全体的に減少になってしまいました。少子高齢化の反映でしょう。

でも、参加した大人たちは元気いっぱい。『体育祭』といってもゲーム大会みたいなものですが、赤組と白組に分かれて得点争いを行い、ゲームが進行するにつれ応援合戦も白熱します。

今回は赤組が2年連続の優勝トロフィーを獲得、敗者の白組からも大きな拍手が送られました。そのあとは、会場を隣接の古川市民センター1階和室に移動して昼食会。ビンゴゲームにも一喜一憂、「体育祭いいなあ、来年もまだやるべえ」の声が飛び、賛意の拍手が会場を包み込みました。

油川横町町会

好評なトランプ大会
終了後は楽しい新年会

少子高齢化が進み、住民の職業も多様化している中、それぞれの価値観の違いから、町内会の親睦を図る機会が少なくなっています。

そこで、できるだけ多くの住民に参加してもらおうと、数年前まで神社境内で盆踊り大会を開催してきましたが、場所と広さの問題などから休止せざるを得なくなりました。

代わる親睦の機会として始めたのが「新春トランプ大会」。初めは青年部が主体となって開催していましたが、一般町会員も自由に参加できるようにと、町会主体の開催に切り替えました。今年の正月で4回目を数えましたが、好評で年々参加者が増え、今年は30人に上りました。町会の年間行事の一つに定着しつつあります。

ゲームは4人1組の「黙り関係」ですが、ゲームが始まると会場の「横町市民館」から隣家に届くほどの賑やかさ。ゲームが進むうち夢中になり、参加者の性格も現れるなど、心を開いた交流の場ともなっています。

参加者にはさまざまな賞を贈り、終了後は反省会兼新年会とし、歌や踊りなどで和気あいあい、楽しいひと時を過ごします。

おらほの自慢

西奥野町会

地域一丸で子供祭り

創立50周年の記念事業

平成15年7月、50周年の記念すべき節目を迎え、その事業の一部として地域の子供たちとともに行った「子供祭り」を紹介します。

祭りの計画は、三上昌子主任児童委員が中心になり、民生・児童委員、町会役員が参画、さらに浦町小の児童数人が準備委員として加わり、進めました。祭りの周知を図るとともに、老人クラブの方々に応援を依頼し、子供たちとお年寄りの交流も提案しました。

7月19日、天候にも恵まれ、奥野集会所の内外で子供祭りが始まり、子供たちのほかに同伴のお父さん、お母さん、それに老人クラブの人たちが加わり、150人以上を数えました。

囲碁、将棋、お手玉、おはじき、けんだま、なわとび、ビンゴゲーム、ルーレット、サイコロころがし、くじ引きなどを行い、純日本的な遊びに夢中になるなど、ほほ笑ましい光景が随所に見られました。

地域の人たちが一体となり、子供たちを温かく、時には厳しく見守っていくことによって、犯罪のない、明るく豊かな社会づくりができるのではないでしょうか。祭りは教えてくれました。

北赤坂町会

町会の祭りに創造性

戸山中生が見事な運営

当町会のモットーは「あいさつ運動」。あいさつによって人生の出会いが始まる、心の交流の門が開かれる。この人間の絆がやがて団結の力を生み出すのです。事業の一部を紹介します。

＜北赤坂町会祭り、野外芸能発表会、盆踊り大会＞　平成15年は8月24日実施。初めての試みとして戸山中生徒が参加し、各部署の主役として担当。新しい発想、創造性に富んだ見事な運営ぶりで、多くの方に感動を与えてくれた。

＜町会自主防災部の設立と活動＞　戸山西小、戸山中の活躍が目覚しい。特に15年8月30日、県総合防災訓練に小学生5人、中学生8人、高校と大学生各1人、一般45人が参加し、戸山中生徒の模範的行動・活動が目を見張らせる。

＜青少年健全育成とまちづくり＞　人を育てる意味での教育は本来学校現場だけでなく、地域社会で担う使命がある。学校以外の活動に目を向けてやることが必要。

当町会は、戸山中生徒の提案で「古里四九四隊」（ふるさとよくしたい）ののぼり旗を作り、これを掲げて社会奉仕活動を行う。わが地域の新しい出発である。

アパート入居者対策

管理者らと「覚書」交わす

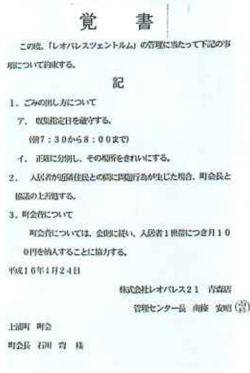
ごみの出し方・町会費

—上浦町町会

どこの町会も、町会運営の面で悩みの種はアパート入居者の“ごみの出し方”や“町会への未加入”の問題といいます。そこで今回は、「話し合いで解決できないはずがない」と取り組んでいる上浦町町会の例を紹介します。

同町会の場合、一般町会員とアパート入居者とのトラブルを少なくするため、石川　穹町会長が役員と相談しながら、次の方策を講じています。

まず、アパートの建設工事開始と同時に、建て主さらには入居契約を行う不動産取引業者、管理する会社を突き止め、「入居者のごみの出し方」と「町会費の納入」等について、協力してもらう「覚書」＝**写真**＝を交換しています。



覚　書

この度、「レオパレスツェントルム」の管理に当たって下記の事項について約束する。

記

1．ごみの出し方について

ア．収集指定日を厳守する。

（朝7：30から8：00まで）

イ．正確に分別し、その場所をきれいにする。

2．入居者が近隣住民との間に問題行為が生じた場合、町会長と協議の上対処する。

3．町会費について

町会費については、会則に従い、入居者1世帯につき月100円を納入することに協力する。

平成16年1月24日

株式会社レオパレス21　青森店

管理センター長　南條　安昭

上浦町　町会

町会長　石川　穹　様

さらに、ごみの収集場所については、独自にアパートの敷地内に設置する場合でも、町会が市の清掃事業所と事前に協議し、トラブルがないよう取り計らっています。

町会費の納入についても、管理者あるいは入居者個々に文書でお願いし、協力を得るよう努力しています。しかし、入居者の中には理解を得られない人もおり、町会加入の面で苦労しています。「これからも全役員の協力を得ながら、町会加入につながるよう頑張りたい」と町会長は話しています。

奥野通りの防犯旗と交通安全旗

のぼり旗で意識高揚へ

防犯旗、交通安全旗を配布

市町会連合会は防犯、交通安全意識を高めるため、のぼり旗を製作し、地区連合町会から希望があった「防犯旗」600枚、「交通安全旗」500枚と「ポール」660本を一括発注し、4月5から13日までに希望した地区連合町会に配布しました。

今後も要望に応じて発注し、配布することにしています。

コミュニティ活性化補助金

110町会が補助事業実施

平成15年度に市の「地域コミュニティ活性化事業補助金」を利用して、スポーツ大会やレクリエーション、花壇づくり、リサイクル活動などのコミュニティ事業を実施した町会は、延べ110町会（75事業）となりました。

ちなみに14年度は、延べ102町会（66事業）でしたので、8町会（9事業）が増えました。今後も、より多くの町会が補助金制度を利用してコミュニティ事業に取り組むよう期待しています。

哀　悼　録

久須志第一町会長　阿部　　巖

（平成16年3月15日ご逝去）

前町会連合会会長　森山　健二

（平成16年3月16日ご逝去）

慎んで哀悼の意を表します

葬祭用ポスターご利用を

市町会連合会では、冠婚葬祭合理化運動を推進しています。その一環として「葬祭用ポスター」（1枚250円）を販売しています。どうぞご利用ください。

◉　編　集　後　記　◉

今回の定時総会で副会長、常任理事、監事など役員が大幅に改選されました。これに伴い、町連だより編集委員もかなり入れ替えが出ますが、編集体制そのものはほとんど変わらない方向です。

とはいっても、町会が抱える課題の把握などに向け、町連役員と町会長が意見交換を行うことになっており、町会バックアップの観点から、できるだけ掲載を心がけていきたいと考えています。